

総務常任委員会 所管事務調査 報告書

1 開催日時

令和6年7月24日（水曜日）午前9時56分～午前11時14分

2 開催場所

富谷市役所305会議室

3 出席委員（6名）

委員長	畑山和晴	副委員長	菊池美穂
委員	畠山由美	委員	佐藤浩崇
委員	村上治	委員	青柳信義

4 欠席委員（なし）

5 説明のため出席した者（3名）

企画部長	樫尾浩和	財政課長	西山高広
財政課長補佐	瀧田謙一郎		

6 事務局職員出席者（1名）

主事 平塚啓太

7 調査事項

財政状況及び公共施設の維持管理について

8 調査報告

本市の財政状況については、宮城県総務部市町村課作成の「目で見える市町村財政」令和4年度決算により、市町村ごとの財政指標において本市の財政状況は健全な状態であり維持している。

しかしながら、令和5年度経常収支比率は94.4%となり前年度から7.3ポイント悪化している。扶助費の支出の想定以上の増加や、図書館等複合施設整備工事、東向陽台児童クラブ整備工事、老朽化が進む公共施設にかかる修繕費及び維持管理費の増加、総合病院誘致にかかる諸経費、給食費無償化の費用など今後の財政運営に対して厳しい状況が想定される。

令和4年度決算が「借金を減らしながら貯蓄は増やす」ということから、令和5年度決算の数値は確かに悪化しているが、地方創生臨時交付金等を活用しての事業もあり、一般財源への負担を減らし、また企業誘致の強化による税収の増加への取り組みなど市民福祉の維持と向上に対しての努力が見られる。

多様できめ細かい支援が求められる昨今、新規事業が積み増す中で、時代に合わないもの等の事業は廃止する必要性もあると思われる。市民サービスと財政運営のバランスを保ちながら優先順位を明確にし、「選択と集中」を徹底すべきである。また広域的な観点から、「ハコもの」等の施設に関しては近隣自治体や民間との連携が必要であると思う。

今後財政状況は厳しさを増していくことは容易に想像がつく。どれだけ無駄な経費を省けるか。また、企業誘致などで税収を上げるか。しっかりとした細やかな計画の下、財政運営を行っていくことを期待している。

令和6年8月13日

委員長 畑 山 和 晴
